

第8節 消 防 関 係

1 消防

(1) 常備消防

ア 消防総務一般事業

24,304,358 円

消防職員が業務を遂行するための基本的な勤務環境の整備及び充実を図った。また、広島県消防学校への派遣研修や必要な資格の取得などにより、職務能力の向上を図った。

(7) 特定業務従事者等健康診断業務委託料

1,696,084 円

(4) 職員の教育・研修等の実施状況

(単位：人)

	教育種別	参加人数	教育・研修等の目的
広島県消防学校	初任教育	4	新たに採用された消防職員及びこれに準ずる職員に対し、消防の使命と責務を認識させるとともに、消防に関する基礎的な知識・技術を修得させる。
	専科教育救助科	3	救助技術に関する知識・技術を修得させるとともに、困難で苛酷な状況下でも必ず救助するという不屈の精神力、旺盛な士気及び強靱な体力を養成する。
	専科教育救急科	3	救急隊員の資格を取得させるとともに、さらに高度な応急処置等に必要の専門的な知識・技術を修得させる。
	専科教育危険物科	2	危険物の性質、危険物規制等に関する知識・技術を修得させるとともに、予防技術検定（危険物）の受験資格を取得させる。
	専科教育特殊災害科	2	特殊物質に係る専門的知識、災害の態様に応じた消防活動要領、災害現場における適切かつ効果的な消防戦術の指揮技術等を修得させる。
	専科教育火災調査科	2	火災の原因調査、損害調査、鑑識に関する知識・技術を修得させる。（特異な火災事例に係る原因・損害査定等の考察、製造物責任法関連の事例研修を含む。）
	幹部教育中級幹部科	2	中級幹部としての責務、事務管理、指導能力等に関する知識・技術を修得させる。
	特別教育ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習	2	救急現場において、気道確保法としてのビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管法を的確かつ安全に施行でき、事故発生時に適切に対処できる技術を修得させる。

(令和4年度繰越分)

(単位：円)

概 要	事業費
消防職員貸与被服（防火衣一式）の購入	597,300

イ 消防庁舎等維持管理事業

44,921,451 円

廿日市消防署、西分署、佐伯消防署、大野消防署及び宮島消防署各庁舎の安全性、利便性の向上及び良好な執務環境を確保するため、維持管理を行った。

消防庁舎維持管理業務委託料

7,874,790 円

ウ 消防通信施設維持管理事業

49,361,588 円

高機能消防指令センターの指令及び通信設備の維持管理を行い、119番通報の受信、出動部隊の指令・管制、消防通信の確保・管制、消防職員・団員の招集及び災害情報の収集・連絡・記録等、通信指令業務の安定運用を行った。また、「Live119 映像通報システム」の運用により、通報者の位置情報や映像を確認して適切な消防力を投入し現場活動を行った。さらに、「NET119 緊急通報システム」を運用し、聴覚や発話に障がいのある人が音声を使わず簡単な操作で緊急通報が行えるようにしている。

サービス利用料

1,386,000 円

エ 吉和地域消防事務委託負担金

18,818,532 円

吉和地域の消防体制の確保を図るため、「消防事務の一部の事務委託に関する規約」に基づき、広島市に委託している消防事務に要する経費を負担した。

オ 予防活動事業 1,602,564 円

市民に対し、火災予防の普及啓発を推進し、防火意識の高揚を図った。また、事業所に対し、防火対象物並びに危険物施設等の位置、構造、設備及び管理状況等に関する指導強化を図り、火災予防対策を推進した。

カ 救急活動事業 11,438,633円

傷病者の生存率や社会復帰率を向上させるため、救急救命処置で使用する消耗品を購入し、老朽化した救命講習用資器材や救急救命処置に必要な資器材を更新した。

(ア) 救急活動用消耗品費 8,078,969円

(イ) 救急活動用備品購入費 1,271,050円

キ 救急救命士育成事業 6,146,460 円

救急医療体制の充実を図るため、救急救命士の養成、現任の救急救命士の再教育等を実施した。

(単位：人)

概 要	令和3年度	令和4年度	令和5年度
救急救命士養成	2	2	2
指導救命士養成	-	1	1

ク 消防資機材等管理事業 34,973,203円

(ア) 火災や水難に加え、近年増加している風水害等に対応するため、消防用ホース、潜水活動用資機材等を更新し、人命救助に必要な土砂風水害対策資機材を配備することで、複雑多様化する災害に対する体制強化を図った。

土砂風水害対策資機材購入費 826,518 円

消防資機材購入費 3,085,720 円

(イ) G7広島サミット開催中に起こりうるテロや多数傷病者等の災害に対応するため、化学防護服、化学剤検知器、除染テント、救護所用テント等の消防資機材を配備し、万全の体制で消防特別警戒に当たった。

消防資機材購入費（G7広島サミット） 28,175,950 円

ケ 指揮車整備事業 22,663,240円

複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、平成10年度に廿日市消防署及び平成14年度に佐伯消防署に配備した車両を更新し、故障等の不測の事態を未然に防止した。

概 要	対 象	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
指揮車購入	廿日市消防署	1	11,331,620	0
指揮車購入	佐伯消防署	1	11,331,620	0

(2) 非常備消防（消防団）

ア 消防団活動運営事業 102,424,803 円

消防団は、消防署と共に市民の生命、身体及び財産を各種災害から守るため、火災の予防と各種災害による被害の軽減、防止活動を行った。また、消防団の施設、組織の充実を図るとともに、各種教育訓練を通して、消防に関する高度な知識の修得と技術の向上を図った。

(ア) 消防団員の教育・研修等の実施状況

a 特別教育訓練指導員科（県訓練指導員）

県訓練指導員5人が、消防団員の防災技術の向上を図るため、教育訓練の指導に要する知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

b 特別教育訓練指導員科（市町訓練指導員）

部長5人及び班長2人が、消防団員に必要な訓練礼式及びポンプ操法の指導者としての必要な知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

c 幹部教育上級幹部科

副団長5名が、消防団の上級幹部として、組織の管理及び消防団活動に必要な知識・指導力・統率力を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

d 幹部教育指揮幹部科（分団指揮課程）

分団長1名及び部長1名が、分団本部等で指揮を行うために必要な知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

e 幹部教育指揮幹部科（現場指揮課程）

分団長1名、部長1名及び班長2名が、消火・救助・避難誘導・災害情報収集伝達等の現場指揮者としての知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

f 機関科

班長2名及び団員3名が、消防用車両等の運用及び消防ポンプの運用に必要な知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

g 特別教育一日入校

班長1名及び団員11名が、消防団員に必要な基本的な知識・技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

(イ) 消防団員数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
消防団員数（人）	607	590	593	555	559

(各年度3月31日時点)

(ロ) 消防団員の訓練実施状況

訓練を年間452回行い、延べ7,747人参加した。

(エ) 消防団員の年額報酬・出動報酬等支払状況

a 年額報酬	20,904,289 円
b 出動報酬等	41,407,000 円
(カ) 広島県消防協会廿日市支部補助金	4,083,000 円

イ 消防団車庫維持管理事業

6,425,988 円

消防団車庫の維持管理（光熱水費、浄化槽保守等）及び第11分団（市垣内）消防団車庫の屋根改修を行った。

(単位：円)

概 要	施工箇所	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
消防団車庫屋根改修工事	第11分団（市垣内）	1	3,005,200	0

ウ 小型動力ポンプ付積載車整備事業

12,129,930 円

平成11年度に第4分団（地御前）に配備した小型動力ポンプ付積載車を更新した。

(単位：円)

概 要	施工箇所	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
小型動力ポンプ付積載車	第4分団（地御前）	1	12,129,930	0

エ 消防団車庫整備事業

2,723,046 円

第12分団（宮島口）車庫の移転建替えに伴う、実施設計等を行った。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
第12分団消防団車庫整備工事実施設計業務委託料	宮島口	2,475,000	0
第12分団消防団車庫用地購入費	宮島口	248,046	0

(3) 消防施設

ア 消防水利施設整備事業

25,098,700 円

耐震性貯水槽（60t）を設置した結果、防災機能強化が図れた。

(単位：円)

概 要	数 量	事 業 費	うち補助対象事業費
原地区防火水槽（耐震性貯水槽）設置工事	1	12,479,500	0
友田地区防火水槽（耐震性貯水槽）設置工事	1	12,619,200	0

イ 消防庁舎整備事業

190,776,300 円

佐伯消防署の敷地・施設の狭隘化及び老朽化等の課題を解消し、防災拠点施設としての機能強化を図るため、佐伯消防庁舎の移転・建替整備を令和3年度から令和6年度までの4か年で行う。令和5年度は、整備工事に着手し併せて関連業務等を行った。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
佐伯消防署整備関連業務委託料	津田	9,790,000	0

概 要	施工箇所	事 業 費	うち補助対象事業費
佐伯消防署整備工事	〃	176,000,000	0
職員等駐車場整備工事等	〃	4,986,300	0

(4) 防災

ア 防災一般事業

11,121,213 円

- (ア) 災害発生時に迅速かつ的確に行動するために、職員を対象とした図上訓練を実施し、災害対応に関する知識や技能等を習得した。

廿日市市災害対策本部運営訓練実施業務委託料

1,177,000 円

- (イ) 本市の災害対応力を向上させるため、災害に関する専門的な知見を持つ団体からアドバイスや改善策の提案、他自治体の優良事例等の提示を受けた。

防災アドバイザー業務委託料

1,347,500 円

- (ウ) 迅速かつ確かな災害対応及び防災意識の醸成につなげるため、職員 5 名が防災士資格を取得した。

防災士養成講座研修負担金等

214,100 円

- (エ) 避難情報発令時の安全・確実な避難につなげるため、避難所となる「フジタ スクエア まるくる大野」と「大野西市民センター」の周辺に誘導標識を設置した。

避難所看板設置業務委託料

664,400 円

イ 自主防災活動推進事業

7,138,910 円

- (ア) 出前トーク等の実施

地域防災の専門的な知識を有した職員を 2 名配置し、自主防災組織や市民からの防災に関する相談へのアドバイスや出前トークにより、地域の自主防災組織活動を支援した。また、児童・生徒を対象とした防災教育等を実施し、子どもたちの防災意識向上を図った。

出前トークの実施状況

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数 (回)	12	36	34
参加人数 (人)	446	981	856

防災教育の実施状況

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数 (回)	19	17	24
参加人数 (人)	2,494	2,133	2,542

- (イ) 防災リーダーの養成

地域の自主防災活動のリーダー的な役割を担う人材（防災士）を養成した。集中豪雨や地震などの自然災害に対する市民の防災意識の醸成と地域の防災力の強化を図るため、防災士養成講座研修事業を実施した。

防災士養成講座研修負担金等

1,949,000 円

養成状況

(単位：人)

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	累計
養成人数	47	42	49	292

※ 令和 2 年度までに防災士の資格を有し、地区の自主防災組織で活動する防災士は 154 人

- (ウ) 自主防災組織補助金

自主防災組織活動を支援するため、補助金を交付した。

自主防災組織 26 団体

2,787,944 円

- (エ) 宝くじコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業 区分ア）

一般財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報を目的として募集するコミュニティ助成事業を活用し、地域の自主防災組織が取り組む事業に対し支援を行い、地域防災力の強化を図った。

自主防災組織 2 団体

1,900,000 円

ウ 応急物資管理事業

6,795,064 円

避難所の生活環境を整えるため、食糧、毛布、簡易ベッド、簡易更衣室等の応急備蓄物資を購入した。

消耗品費等

5,570,274 円

エ 防災情報システム管理事業

67,831,488 円

- (ア) 気象情報や雨量・水位・土壌雨量指数の観測情報等の多数の情報を同時に表示し、災害対応に必要な情報収集や共有を図ることができる災害対策本部事務局気象状況等監視映像システムを導入した。

災害対策本部事務局気象状況等監視映像システム導入業務委託料 20,350,000 円

- (イ) 広島県総合行政通信網再編整備工事の一環として、アンテナの共用を廃止し、Jアラート用衛星アンテナを新たに設置した。

Jアラート用衛星アンテナ設置工事 1,287,000 円

- (ウ) 公共施設の新築に伴い、敷地内に設置していた衛星携帯電話設備の移設工事を実施した。

衛星携帯電話設備移設工事【吉和】 682,000 円

- (エ) 公共施設の新築に伴い、防災行政無線設備の整備工事を実施した。

防災行政無線設備整備工事【吉和】 8,250,000 円

(令和4年度繰越分)

(単位：円)

概 要	施工箇所	事業費	うち補助対象事業費
工事請負費			
防災行政無線設備整備工事	吉和	3,300,000	0